

うしおだ 通信

No.12
2025年9月



発行 汐田総合病院 地域連携室

脳神経外科 **脳卒中予防外来** のご紹介

当院では、脳卒中発症のリスク管理と適切な治療介入のタイミングを見逃さないための「脳卒中予防外来」を開設しました。
地域の医療機関からの紹介も積極的にお受けしております。



かかりつけ患者様の脳卒中発症予防のために、
ぜひご活用ください！

◆ 定期的な検査で重症化・再発を防ぐ

脳卒中は、介護が必要になる原因の主な疾患第2位となっています。
特に主要血管（頸動脈や脳主幹動脈など）に狭窄が認められる症例では、定期的な評価が不可欠です。当院の脳卒中予防外来では、下記の点に重点を置いて診療を行っております。

- ・血管狭窄の進行評価（MRI/MRA、頸動脈エコー等）
- ・無症候性脳梗塞の有無の確認（精度の高い画像診断）
※CT検査では把握しづらい微細な虚血性病変も、MRI検査により早期に検出が可能
- ・発症予防のための薬剤調整と生活指導
- ・外科的治療（血行再建術など）の介入時期の判断

◆ 専門医によるリスク管理と紹介患者の受け入れ

当院では、日本脳卒中学会専門医を中心に、外来患者様の長期的な経過観察とリスクマネジメントを実施しています。また、他院からの糖尿病、高血圧、脂質異常症、心臓の冠動脈疾患の既往がある患者様の診療にも対応しており、診療情報の共有やフィードバックも行っております。

◆地域の脳卒中医療を支えるパートナーとして

当院は、脳卒中の早期発見・再発予防・生活支援をトータルで行う体制を構築し、地域の皆さまの安心と健康に貢献してまいります。医療機関の先生方におかれましては、引き続きご紹介・ご連携のほどよろしくお願いいたします。

◆副院長・脳神経外科部長 山内 達也 医師より

脳卒中に1度罹患してしまいますと、大きな後遺症が残ることが一般的に知られております。

近隣の先生方におかれましては、日頃より脳卒中リスクである、高血圧、糖尿病、脂質異常症等の治療に尽力していただいておりますが、脳卒中の予防という面に関しましては、脳血管や頸動脈の狭窄を評価することによって、内科的治療だけでは予防しきれない脳血管の狭窄、頸動脈の狭窄を見つけることを併用することで、より脳卒中を予防することに有効であると思われます。そのためには、当院の脳卒中予防外来をご利用いただきまして、患者様の脳卒中発症のリスクを少しでも低減できればと思います。



◆退院後の生活を支える「訪問リハビリテーション」も完備

急性期治療から退院後の生活期まで、切れ目のないリハビリテーション提供体制を構築しています。

医療・介護の両面で患者様をサポートし、再発予防だけでなく生活の質(QOL)の維持・向上を目指します。

ご紹介・お問い合わせ先

汐田総合病院・地域連携室

電話：045-574-1396

FAX：045-574-1490

ご紹介時は診療情報提供書を添えてFAXいただけますとスムーズです。

地域医療連携室からの調整も承ります。